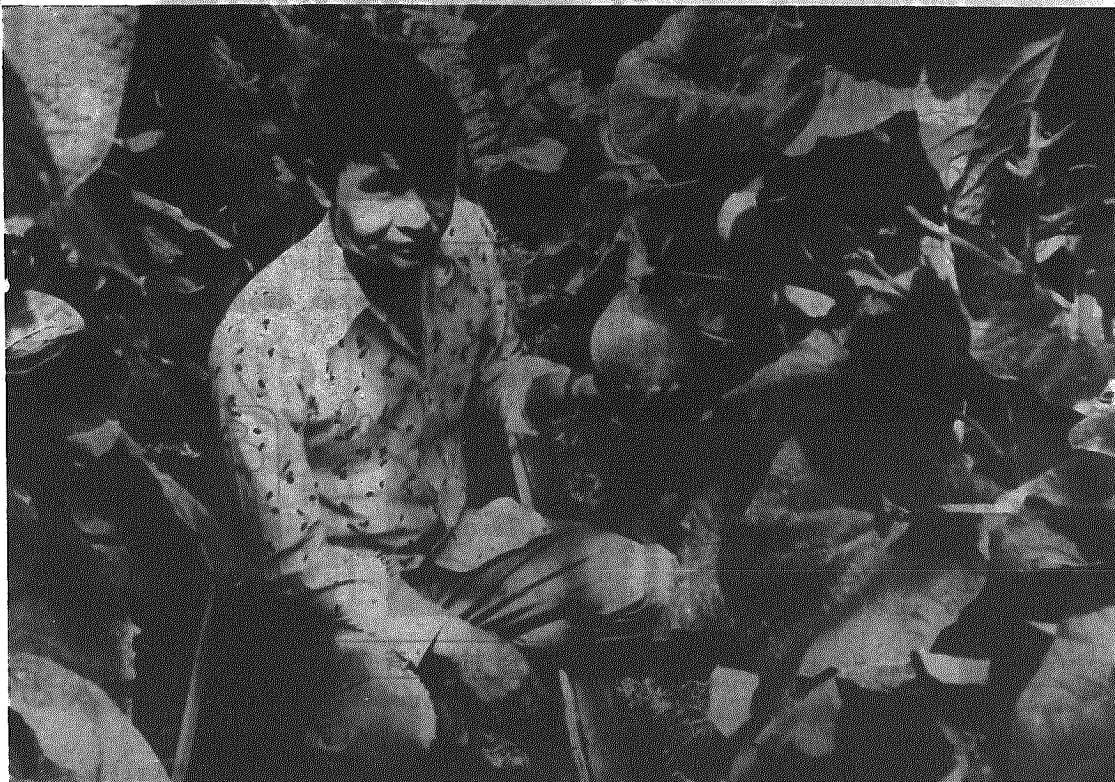


— おもな内容 —

1. 夏、台所の衛生に十分注意を (1 P)
2. 村の有線放送 (2 P)
3. ゲートボールで健康と仲間づくり (3 P)
4. 早起き野球大会  
4会場連続戦つづく (4 P)
5. 第2回さつき展 (4 P)
6. 横越中の自治会館が完成 (4 P)



シリーズ村の特産 ⑥ ハウスメロン栽培 藤山、皆川三四郎氏

## 夏

### 食中毒

# 台所の衛生に十分注意を

### 清潔・じん速 加熱と冷却

七月、八月の暑い盛りは、食品のいたみが早く、食中毒が多く発生します。食品の管理と台所の衛生には十分注意をしましょう。

食中毒の予防は、一にも二にも食品を細菌汚染から守ることに尽きますが、そのためには、清潔、じん速、加熱と冷却の三原則を忘れないようにしましょう。

#### 一、清潔

いままら言うまでもありませんが、ふきん、まな板、包丁、食器類などの衛生には、とくに気をつけましょう。

また、意外な盲点となるのが手です。台所に立つときは必ず手を洗うくらい心がけをもちたいものです。

どんな方法で洗っても、日光で乾燥させるかまたは検出されませんが、水道や中性洗剤で洗っても、室内で乾燥したものからは、再び検出されます。梅雨期などには蒸洗いや、漂白剤などには蒸洗いや、漂白剤を使って殺菌しましょう。

#### 二、じん速

食品を早く調理し早く食べると、いふことはよく分かりますが、つけたいものはなるべく残さない。又食品を買った際、製造年月をよく確かめ、新しい食品を選び、冷凍食品などは買物の最後に取り出し、夏場はとくに長時間、持ち歩かないようにしましょう。

食品を早く調理し早く食べると、いふことはよく分かりますが、つけたいものはなるべく残さない。又食品を買った際、製造年月をよく確かめ、新しい食品を選び、冷凍食品などは買物の最後に取り出し、夏場はとくに長時間、持ち歩かないようにしましょう。

#### 三、加熱と冷却

煮沸消毒は、手軽にできる細菌死滅法の一つです。とくに、「ふきんはバイキングの裏になりやすいので、よく洗って煮沸消毒をし、日光に干すのが一番です。」

また、「冷却」は細菌の増殖を抑えるのに効果があります。冷蔵庫を過信するのは禁物です。

夏の間は、冷蔵庫の利用が増え、食品を詰めすぎて冷気が循環を悪くしたり、ひんぱんな扉の開閉によって庫内の温度が上がりがちです。週一回くらいは、残品を整理するなどの庫内一掃を行いましょう。

#### ふきんは日光消毒を

乾燥状況	大腸菌検出		割合	100以下	一般細菌数			割合
	検出数	検出率			100~1,000	1,000~10,000	10,000以上	
乾	22	5	23	0	3	10	9	41%
やや湿	12	7	58	0	0	2	10	83%
湿	6	4	67	0	0	0	6	100%
計	40	16		0	3	12	25	

生活センター  
神奈川県川崎  
ふきんのテスト結果

### 青少年の健全育成

青少年の健全育成が叫ばれ、対策を真剣に考えている。山崎

青少年の健全育成と行動の面にも反映して、青少年問題もますます複雑多岐化して来ている。非行の面にも「喫煙、喧嘩」「シンナー等薬物乱用」「スリ」等の「暴走族」「不軌異性交友」等が上げられるが、これらの背景には、青少年の生活意識の中の不安定感や不満感の増大、自己意識の弱さ等、青少年自身の人格の弱さもある。事ながら、家庭における教育機能の低下、社会環境、社会に於ける自己中心的傾向、道徳感の欠如もある。中でも社会環境の浄化、健全化は、地域住民がやらねばならない問題であり、昨年度、本町はホテル対策委員会（長田中隆氏）が出来、噂のモーテル建設も消えてなくなった。今度は「オモイホ」と云う看板の店が出来たその対策会議が先般行われた。保健福祉、自動販売機等環境浄化をし、青少年の健全育成を願うのは委員のみではないと思う。そのために、「明るい家庭づくり」や、「問題児の早期発見」等健全な家庭環境づくりも大切な事である。そして、青少年が社会の一員として使命を大いに自覚して、将来への意欲をもって身心共に若いエネルギーを発揮しながら、「生きがいの目標」を正しく形成出来るように援助するには児童館や児童遊園地等健全な遊び場を整備する事も必要であるが、健全な社会環境作りも忘れてはならない事である。青少年健全育成の対策として、いろいろな点で上げられるが、地域社会に密着した問題を向上させるために村民同心なるものが必要ではないだろうか。(山崎)